



2017年2月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社ジェイグループホールディングス
(3063)
2016年7月21日



1. 第1四半期連結決算概要

連結損益計算書概要	-----	4
連結貸借対照表概要	-----	5
セグメント別業績概況	-----	6
飲食事業の業態分析	-----	7

2. 第1四半期トピックス

既存店客単価の向上	-----	9
営業利益の改善	-----	10
地域中核都市エリアの拡大	-----	11
不動産事業物件への自社出店	-----	12
新規飲食ビル「jG 金山」のオープン	-----	13
第1四半期の新規出店・リニューアル	-----	14
既存店収益状況	-----	15
店舗数の推移	-----	16

3. 今後の取り組み

第2四半期以降の取り組み	-----	18
今期の業績見通し	-----	19



1. 第 1 四半期 連結決算概要



連結損益計算書概要



	2016年2月期 第1四半期実績		2017年2月期 第1四半期実績		前年同期比 (%)
	実績(百万円)	構成比(%)	実績(百万円)	構成比(%)	
売上高	3,524	100.0	3,463 ①	100.0	98.3
売上原価	1,103	31.3	1,077 ②	31.1	97.7
売上総利益	2,421	68.7	2,386	68.9	98.5
販売管理費	2,487	70.6	2,419	69.8	97.2
営業損失	△66	—	△33 ③	—	—
営業外収益	66	1.9	27	0.8	41.5
営業外費用	32	0.9	39	1.1	120.1
経常損失	△32	—	△44	—	—
特別利益	—	—	1	0.1	—
特別損失	23	0.7	14	0.4	59.2
税金等調整前四半期純損失	△56	—	△56	—	—
親会社株主に帰属する 四半期純損失	△99	—	△44	—	—

- ① 新規出店店舗の立ち上がりにより、若干の遅れがあったこと、また5月の大型連休の影響により売上高は減少。
- ② 飲食事業単独での原価率は27.1%となり、原価低減の取り組みにより前年同期比0.7ポイントの低下。
- ③ コストコントロールにより、10店舗の新規出店費用・2店舗のリニューアル費用ならびに売上高の減少による影響を抑え損失を半減。

連結貸借対照表概要



(百万円)	2016年2月期 期末	2017年2月期 第1四半期末	(百万円)	2016年2月期 期末	2017年2月期 第1四半期末
資産の部			負債の部		
流動資産	1,051	1,112	流動負債	2,571	2,949
現金及び預金	289	223	買掛金	412	419
売掛金	335	408	短期借入金 ※	984	999
原材料及び貯蔵品	96	107	その他	1,174	1,530
その他	329	373	固定負債	3,826	3,829
固定資産	7,115	7,388	長期借入金	3,361	3,310
有形固定資産	5,564	5,831	その他	465	518
建物及び構築物	3,084	3,444	負債合計	6,398	6,778
土地	1,774	1,775	純資産の部		
その他	705	612	株主資本	1,812	1,755
無形固定資産	40	36	資本金	1,068	1,068
投資その他の資産	1,511	1,520	資本剰余金	998	998
繰延資産	2	1	利益剰余金	△179	△236
資産合計	8,169	8,503	自己株式	△76	△76
			その他の包括利益累計額	△47	△35
			新株予約権	3	3
			純資産合計	1,771	1,725
			負債純資産合計	8,169	8,503

※一年内返済予定長期借入金含む

セグメント別業績概況



(百万円)

		2016年2月期 第1四半期実績	2017年2月期 第1四半期実績	前年同期比 (%)	ポイント
飲食事業 居酒屋、レストラン等での 飲食サービスの提供	売上高	3,159	3,096	98.0	新規出店の立ち上げの遅れなどにより売上高は減少。利益面では粗利増加等の取り組みにより増益。
	営業利益	83	96	114.9	
不動産事業 不動産の賃貸・管理業務等	売上高	451	463	102.7	「JGrowth 大曽根」の稼働により売上高、利益ともに増加。5月末に新規ビル「jG 金山」もオープンし業績への貢献が開始。
	営業利益	40	44	110.6	
ブライダル事業 挙式・披露宴サービスの提供	売上高	228	209	91.5	「LUCENT Mariage Tower」の強みである高層階からの景観が、名古屋駅周辺の開発工事により悪化し、成約率が減少。
	営業利益	12	13	104.9	
その他の事業 広告代理業、卸売業等	売上高	231	229	99.0	飲食事業の売上高の減少に伴い売上高・利益ともに若干の減少。
	営業利益	9	7	88.1	
調整額	売上高	△546	△534	—	
	営業利益	△212	△195	—	
連結財務諸表 計上額	売上高	3,524	3,463	98.3	
	営業利益	△66	△33	—	

飲食事業の業態分析



(百万円)

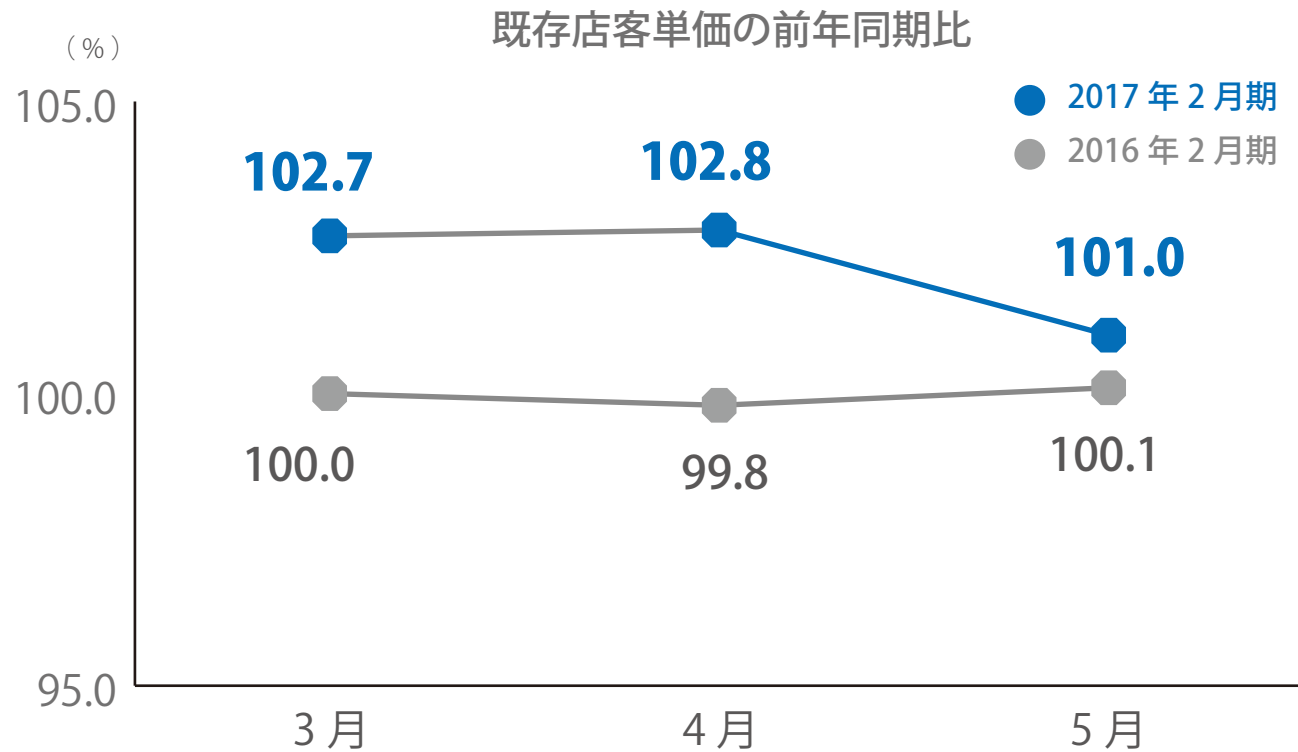
		2016年2月期 第1四半期実績	2017年2月期 第1四半期実績
居酒屋業態	売上高	2,429	2,402
	営業利益 (本部経費配賦前)	295	287
レストラン業態	売上高	380	437
	営業利益 (本部経費配賦前)	26	34
カフェ業態	売上高	297	215
	営業利益 (本部経費配賦前)	△11	5



2. 第1四半期 トピックス

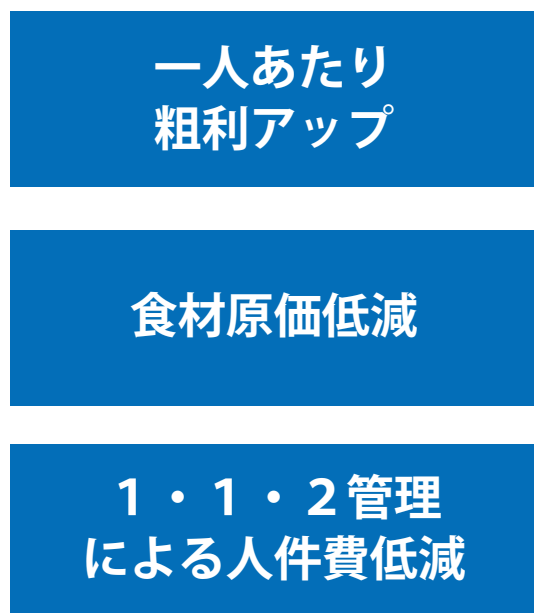


既存店客単価の向上

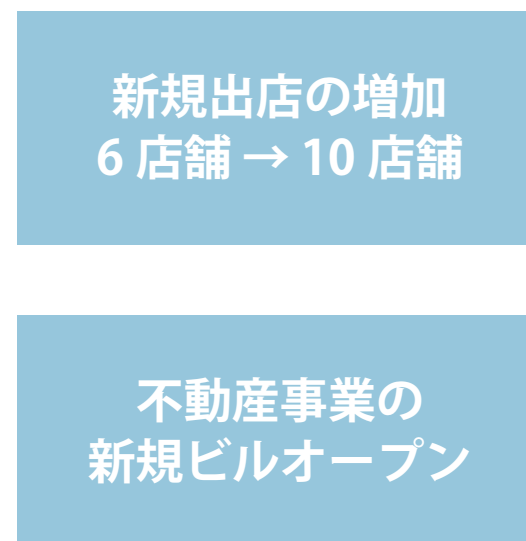


粗利アップの施策を継続して実行することで、前期第1四半期と比較して既存店客単価が向上。5月は連休中の売上高向上のため実施したサービスにより上げ幅は縮小。

主な利益増加要因



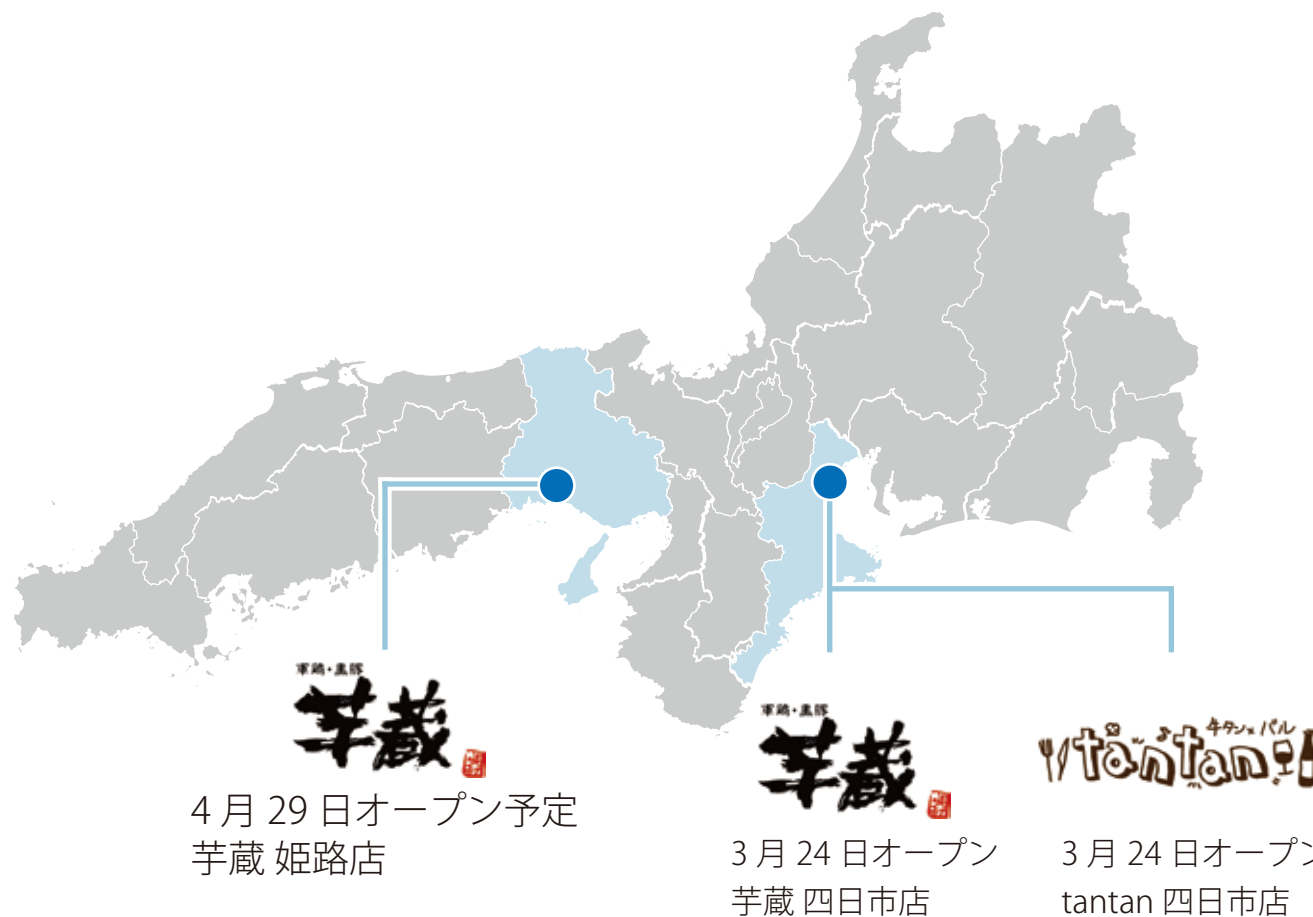
主なコスト増加要因



新規出店の大幅な増加、不動産事業の新規ビルオープンなどのコスト増加要因をこれまで継続してきた取り組みによる利益増加要因が上回り営業損失を半減。

前期営業損失 △66 百万円 → 今期営業損失 △33 百万円

新たな地域中核都市への出店として、四日市・姫路に新規店舗をオープン



➡ 四日市・姫路ともに主力業態「芋蔵」を出店し順調なスタート

不動産事業における強み

空き物件リスクの回避

- ① 飲食事業のネットワークで紹介
- ② ジェイグループ卒業生の紹介
- ③ ジェイグループ自社での出店

上記の3通りの方法で空き予定の物件には即時に出店テナントが決定

自社物件「G-SEVENS刈谷」への出店



G-SEVENS 刈谷の3Fに四七四七にっぽん刈谷店を自社出店

- ・不動産収益および飲食収益をシミュレーションし自社出店を決定。
- ・居抜き店舗となるため、オープン費用も削減

不動産事業と飲食事業の相乗効果により、空き物件のリスクをなくし、より収益性の高い立地への出店を実施

新規飲食ビル「jG 金山」のオープン



施設概要

施設名： jG 金山
住所： 名古屋市中区
敷地面積： 105.58 m²
延べ面積： 526.44 m²
構造： S造地下1階地上5階
オープン日： 2016年5月26日
特徴： フロアごとに核となるお酒の種類を変えた飲食ビル

入居店舗

- 5階 QUALTA DEL BOTTEGON (ワイン)
- 4階 あんごさく (焼酎)
- 3階 吟醸マグロ (日本酒) (自社出店)
- 2階 Bambi (ウイスキー)
- 1階 串星 (クラフトビール) (自社出店)

第1四半期の新規出店・リニューアル



3月



3月1日オープン PIT TAVERN 栄店



3月1日オープン PIT TAVERN 名駅店 (リニューアル)



3月15日オープン パクオリ (リニューアル)



3月24日オープン 芋蔵 四日市店



3月24日オープン tantan 四日市店



3月31日オープン ほっこり バンコク

4月



4月22日オープン 献



4月27日オープン 四七四七につぽん 名駅店



4月29日オープン 芋蔵 姫路店

5月



5月17日オープン 四七四七につぽん 刈谷店

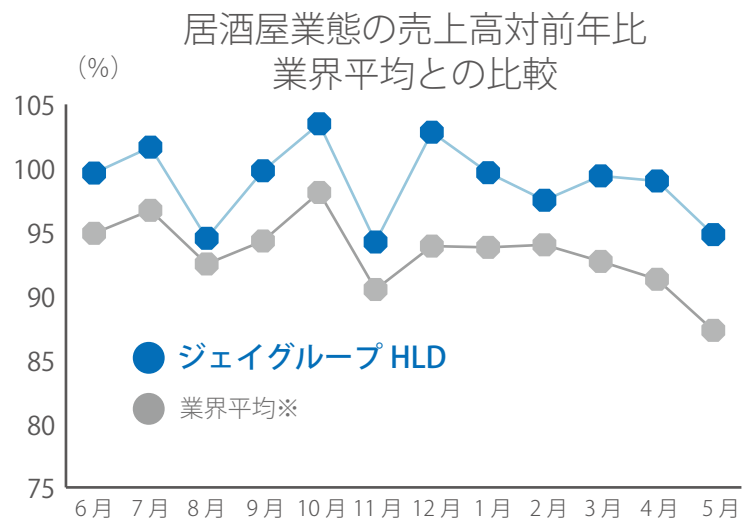


5月26日オープン 串星

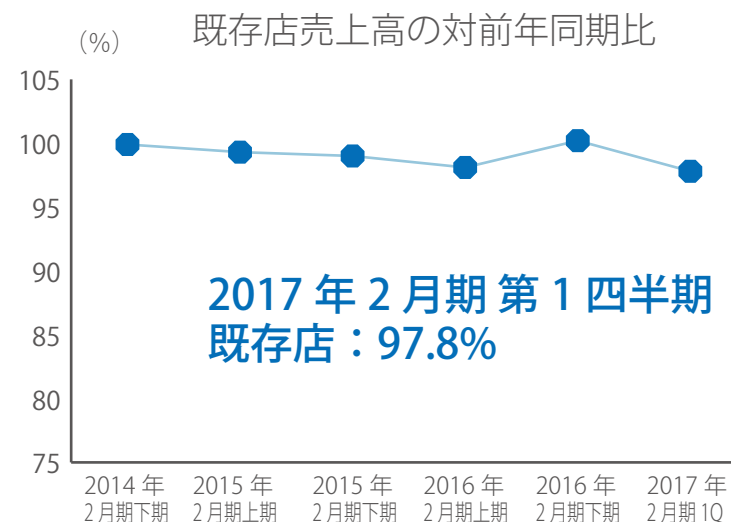


5月26日オープン 吟醸マグロ

既存店収益状況

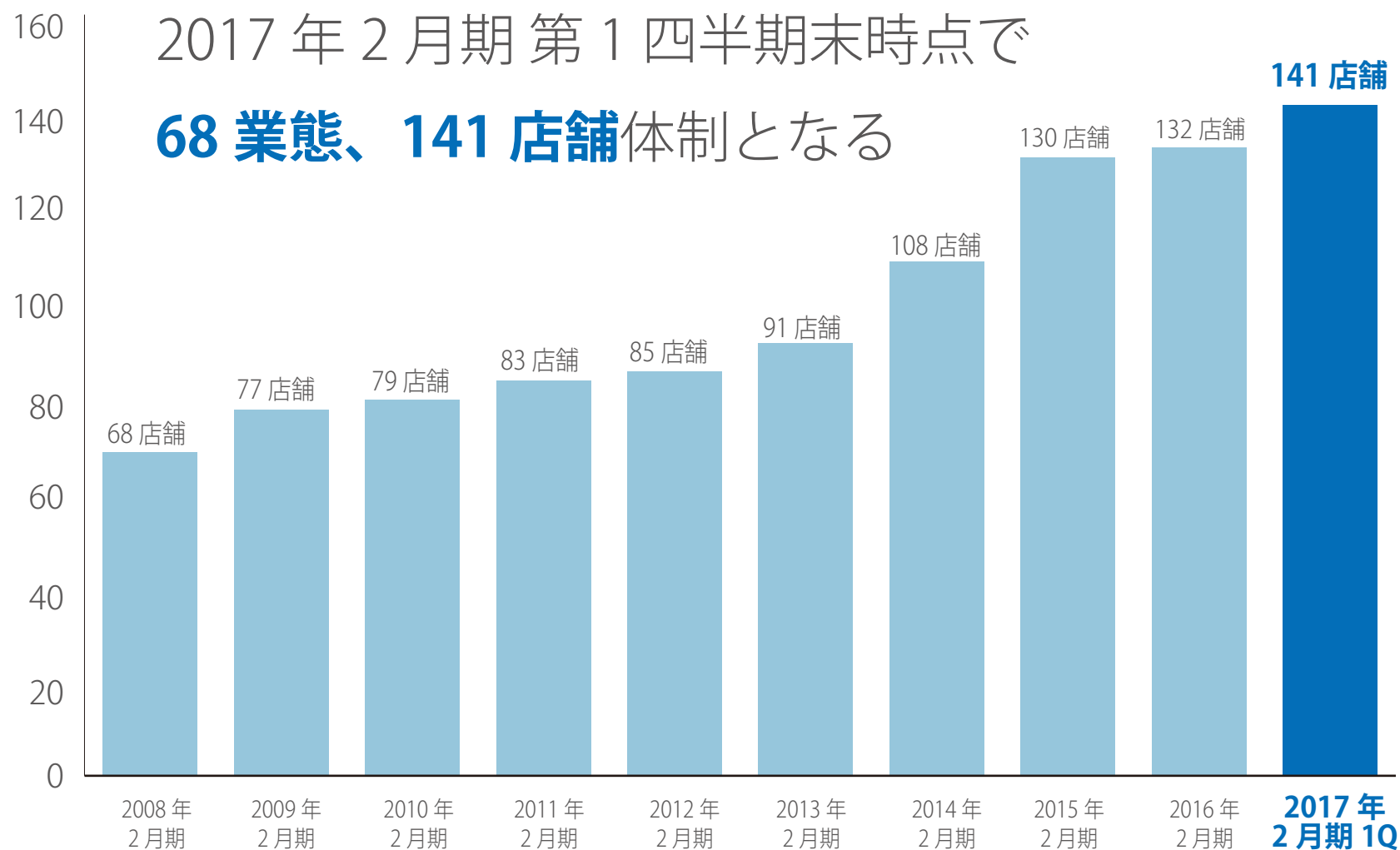


※出典：日本フードサービス協会



		2015年							2016年		2016年2月期 実績	2016年			2017年2月期 第1四半期 実績
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		3月	4月	5月	
居酒屋業態	売上高前年同月比	99.6%	101.7%	94.5%	99.8%	103.5%	97.6%	102.8%	99.6%	97.5%	98.9%	99.4%	99.0%	94.8%	97.8%
	来店客数前年同月比	97.7%	99.7%	92.9%	98.4%	102.1%	94.8%	100.6%	95.2%	93.3%	97.3%	97.1%	96.6%	93.4%	95.7%
	客単価前年同月比	101.9%	102.0%	101.8%	101.5%	101.4%	102.9%	102.2%	104.7%	104.5%	101.6%	102.4%	102.5%	101.5%	102.1%
レストラン業態	売上高前年同月比	94.8%	101.9%	106.2%	108.8%	104.5%	95.9%	99.2%	102.1%	104.0%	100.0%	96.7%	105.8%	103.9%	101.8%
	来店客数前年同月比	90.4%	95.4%	99.4%	101.7%	100.1%	99.3%	99.3%	104.9%	108.4%	98.4%	98.6%	103.6%	105.8%	102.5%
	客単価前年同月比	104.8%	106.8%	106.9%	107.0%	104.4%	96.6%	99.8%	97.3%	96.0%	101.7%	98.0%	102.1%	98.2%	99.3%
カフェ業態	売上高前年同月比	105.6%	97.9%	93.2%	92.6%	105.9%	97.4%	95.0%	100.5%	98.1%	99.2%	91.4%	90.5%	91.3%	91.1%
	来店客数前年同月比	99.0%	94.5%	91.7%	91.9%	106.1%	113.3%	93.9%	100.5%	99.0%	100.5%	87.1%	88.1%	88.3%	87.9%
	客単価前年同月比	106.7%	103.6%	101.6%	100.8%	99.8%	85.9%	101.2%	100.0%	99.1%	98.7%	104.8%	102.8%	103.3%	103.6%

※既存店基準：開店日より24ヶ月を経過した店舗を対象としております。





3. 今後の取り組み



1 新規出店店舗の早期立ち上げ

第1四半期に集中出店した10店舗の早期立ち上げを目指す。強みを活かせる居酒屋業態、経験を活かせる既存業態を中心に店舗運営の効率化を進めていく。

2 法人営業を開始

売上高の向上を目指す施策の一つとして法人営業を開始。宴会需要だけでなく、少人数での「飲み会」でもご利用を促進する様々な提案を実施。

3 原価低減へ向けた取り組み

外部パートナーとともに原価低減へ向けた仕入れ業務の見直しを第2四半期から開始。

今期の業績見通し



(百万円)

	2016年2月期 通期実績	2017年2月期 業績予想	前年同期比 (%)
売上高	13,823	15,000	108.5
営業利益	72	150	208.1
経常利益	72	120	165.8
当期純利益または 親会社株主に帰属する当期純利益	△232	44	—
配当金	中間 1.5円 期末 1.5円	中間 1.5円 期末 1.5円	

【IRに関するお問い合わせ先】
株式会社ジェイグループホールディングス
管理本部 IR担当
TEL：052-243-0026

当資料は株式会社ジェイグループホールディングスが作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。

複写及び無断転載はご遠慮下さい。当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や
債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが当社がその正確性を保証するものではなく、
事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。